

平川市防災マップの使い方

大切な命を守るため「万が一」に備えて危険な場所や避難行動を確認しましょう。

ステップ① 危険な場所の確認

- (1) 地図上（13～34ページ）で自宅や学校・職場などを確認します。
- (2) 普段行動する周辺で浸水が想定される場所や土砂災害が起こりやすい場所などの危険な場所を確認しておきましょう。

ステップ② 避難の「場所」「経路」「タイミング」の確認

- (1) 地図上で自宅周辺などが危険な場所となっている場合は、安全な避難先までの経路を確認しましょう。
- (2) 5ページの「避難行動判定フロー」を用いて、避難のタイミングや行動について確認しておきましょう。

ステップ③ 避難情報に応じて「自らとるべき行動」の確認

- (1) 災害発生のおそれがある場合は、市から警戒レベルを付した避難情報が発令されます。
- (2) 6ページの「避難情報について」を確認し、各避難情報に応じて、自らとるべき行動を平時から整理し、41・42ページのマイ・タイムラインを作成しましょう。

